

【はじめに】

- 平成20年7月から前頭葉を賦活する認知リハビリテーションを開始した。
- 過去3年のデータでは当院通所リハビリテーション利用者において開始時点と比較して有意な認知機能の低下は認められなかった。
↓
- 3年目に認知機能に有意いな変化を認める。
- 利用者と非利用者の認知機能の変化を集積・分析したので報告したい。

【 対象 】

利用者群：参加期間： 2年以上

人数： 8名（男性4名：女性4名）

診断：アルツハイマー型認知症 6名
脳血管性認知症 2名

他デイサービス利用： 6名

非利用者群：

外来通院：2年以上

人数：8名（男性2名：女性6名）

診断：アルツハイマー型認知症 7名
前頭側頭葉型認知症 1名

他デイサービス利用： 3名

【 方法 】

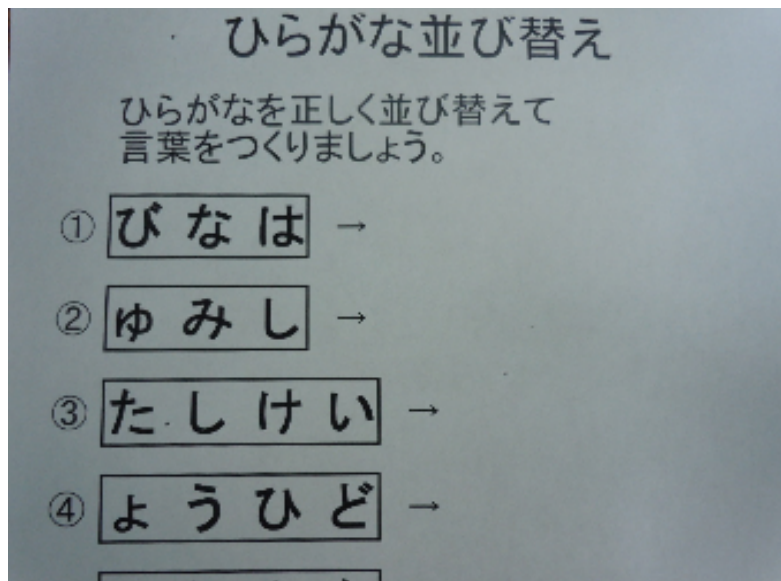
- 3時間30分の認知リハビリテーション(休憩時間を含める)を行った。【 週1回から2回 】
- 内容：
 - ①指体操 ②ひらがな並び替え ③穴埋め単語
 - ④カードゲーム等
- 二標本t検定(ウェルチ検定)

【倫理的配慮】利用者には研究の主旨と個人が特定されないよう配慮を行う旨を口頭に伝え承諾を得た。

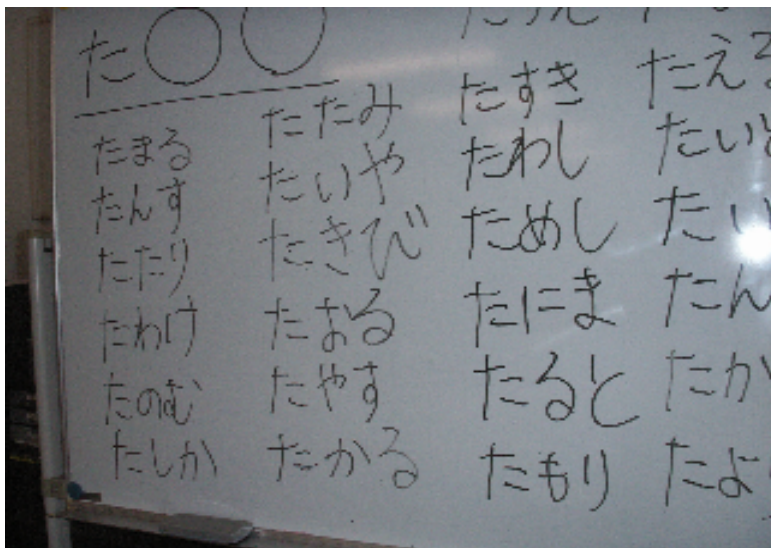
①



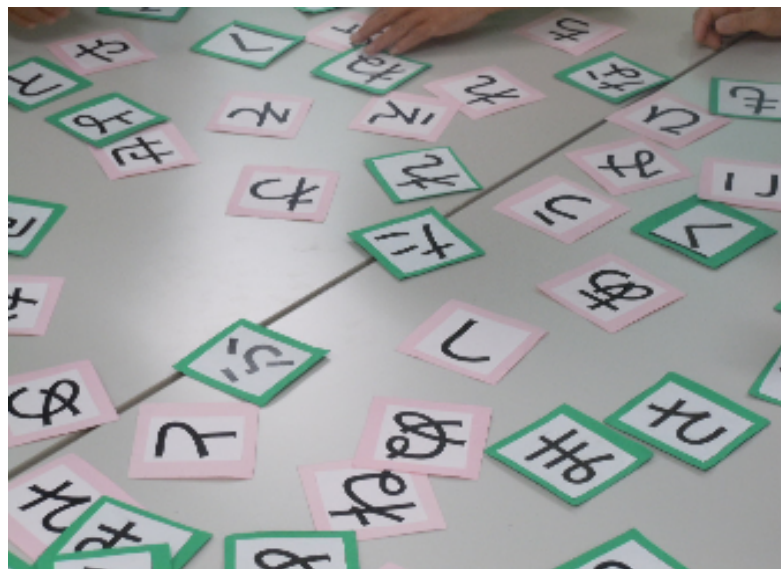
②



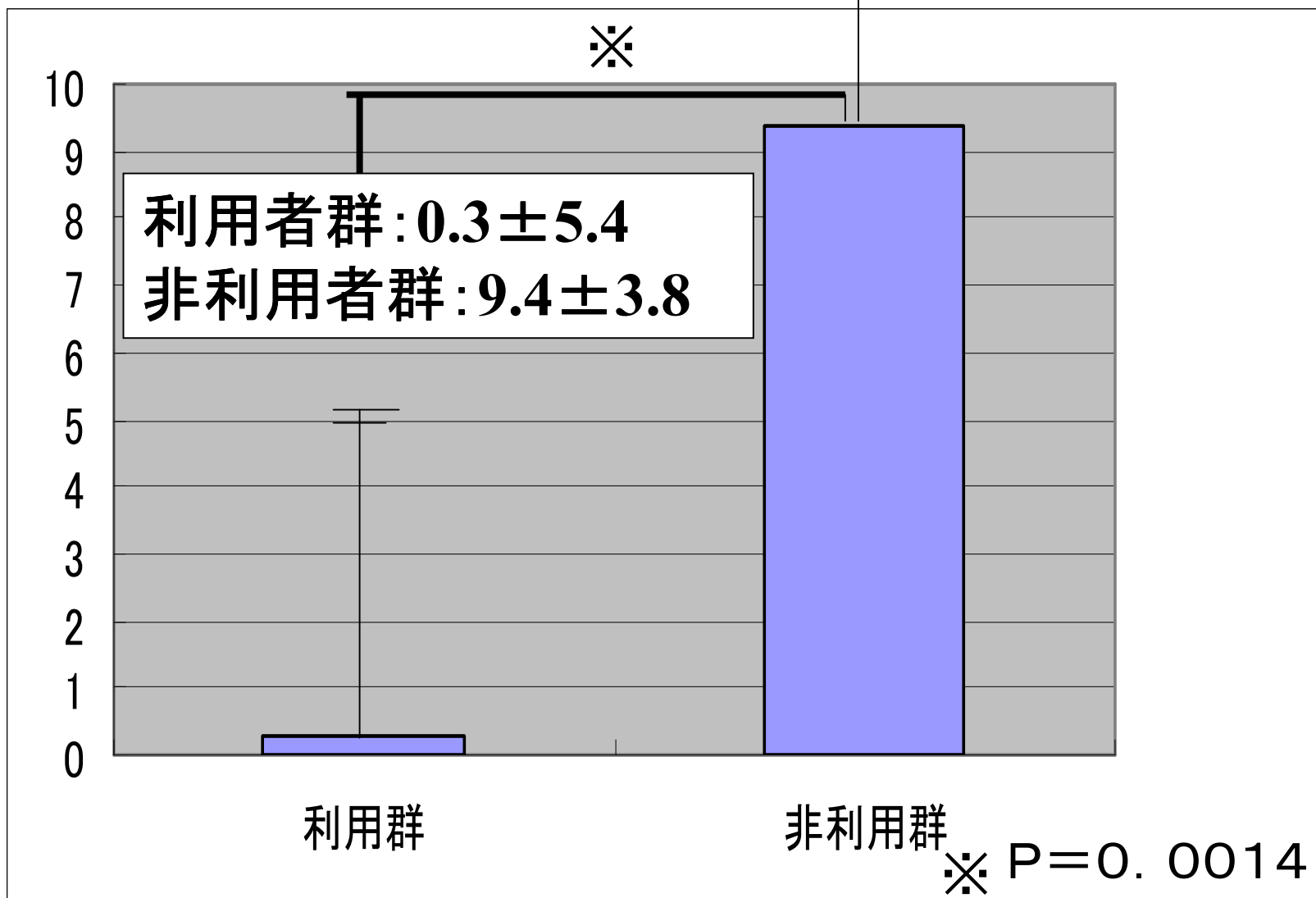
③



④



【 HDS-R の 低下点数 】



【利用者群のデータ】

	診断名	年齢	性別	開始前H DS-R	低下点数	観察期間	ドネペジ ル	他のデ イサー ビス
①	AD	80後半	男	17	-5	25	0	0
②	AD	80前半	女	21	-2	37		0
③	VD	60後半	男	17	-2	37		0
④	AD	80前半	女	15	2	27	0	0
⑤	AD	70前半	女	18	4	37	0	0
⑥	AD	70前半	女	10	-6	23		
⑦	VD	80前半	男	22	3	34		0
⑧	AD	80前半	男	25	9	37		

【 非利用者のデータ 】

	診断名	年齢	性別	開始前H DS-R	低下点数	観察期間	ドネペジ ル	他のデ イサー ビス
①	FTD	90前半	女	15	4	21		
②	AD	80前半	男	22	12	27	0	
③	AD	90前半	女	18	7	43		0
④	AD	80前半	女	14	14	30		
⑤	AD	60前半	女	18	13	33	0	0
⑥	AD	70後半	男	18	12	24	0	0
⑦	AD	70後半	女	18	8	16	0	
⑧	AD	80後半	女	19	5	37		

【 考察 】

- 両群にドネペジルの使用頻度に差はなかった。
- 対象者の疾患に若干の違いがみられた。
- デイサービスの使用頻度に違いがみられた。



これら差異による検討データへの影響は、完全には否定できないが、前頭葉活性化認知リハビリテーションに参加することが、認知機能の維持によい影響を示している可能性が示唆された。